

農業の担い手金融強化に向けた J Aバンクの取組みについて

J Aバンクは、農業の担い手金融の強化に向けて、以下により取り組んでいくことといたしました。

本年 4 月以降、J A・信連・農林中金が、各県域の農業情勢等に応じた農業の担い手に対する具体的な金融対応について協議を行い、順次実践していきます。

1 基本方針

新たな食料・農業・農村基本計画の策定等を受けて、J Aグループあげて担い手支援に取り組んでいく中で、J Aバンクとしても、J A・信連・農林中金が一体となり、「担い手のメインバンク」としての地位確立・機能発揮をめざし、担い手金融強化に積極的に取り組んでいきます。

それぞれの役割分担としては、J Aは、認定農業者（農家）や集落営農組織、J A出資法人等の担い手を主体に金融対応を行います。また、信連、農林中金は、J Aの取組みを推進・支援するとともに、「J Aの対応が困難な農業法人等の担い手」に対し、直接融資、またはJ A（信連）との協調融資等により積極的な金融対応を行っていきます。

2 総合的な担い手向け金融サービスの提供

J Aバンクは、これまでも農業近代化資金や農林公庫受託貸付などの制度資金、営農ローンやアグリマイティ資金などのプロパー資金を幅広く提供していますが、これらに加えて、担い手の多様なニーズに積極的に対応していくため、以下のとおり J Aバンクの金融サービス機能の強化に取り組んでいきます。

（1）経営コンサルティング機能の拡充

J Aバンクは農業法人等に対する①経営診断や会計指導、②販売先紹介・異業種交流等のビジネスマッチング、③将来的な株式上場支援等のコンサルティング機能を強化していきます。

当面は農林中金内にコンサルタントチームを組成するとともに、専門家を活用して、農業法人等へのコンサルティングを行うとともに、J A・信連に対し必要な機能の提供を行っていきます。

（2）法人向け資金「アグリビジネスローン」の創設

農林中金では、農業法人等の資金ニーズに、よりの確に対応していくため、新たな法人向け資金として、融資枠 1,000 億円の「アグリビジネスローン」を創設し、借入者の信用力に応じて、「過度に担保・保証に依存しない、機動

的な運転資金」等を提供してまいります。これにより、プライムレート基準の無担保・無保証の農業資金融資も可能となります（融資可否は農林中金による審査が前提となります）。

また、ＪＡ・信連における本資金の取扱いについては、本年４月以降、各県域において順次検討していくことにしています。

（３）出資等の活用

農業法人等の財務基盤の強化を支援していくため、融資に加え、アグリビジネス投資育成(株)による農業法人等への出資についても積極的に活用していきます。また、協同リース(株)等によるリースの活用を進めます。

（注）アグリビジネス投資育成(株)は、農業法人投資育成事業を営むため、「農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法」に定める事業計画の承認を受け、ＪＡグループと農林漁業金融公庫の出資により設立された株式会社です。

３ 農林中金における体制整備等

上記の取組みを実践するために、農林中金においては、本年４月、農林部に「ＪＡバンク担い手金融室」を設置しました。当金庫では、今後、ＪＡ全中（全国農業協同組合中央会）等の担い手支援部署と連携しながら、①ＪＡバンクにおける担い手金融強化のための企画・立案、②ＪＡ・信連・農林中金に設置する担い手金融リーダーのサポート、③農業法人等担い手に対するコンサルティング機能の提供、④全国の農業法人等への直接融資等を積極的に行なっていきます。

農林中金は、農業法人等への直接融資を行うために、農林中金内にアグリビジネスローン等の融資ファンド（融資枠）を１，０００億円設定します。

４ 各県のＪＡ・信連における取組み

各県における具体的な取組み等については、本年４月以降、ＪＡ・信連・農林中金が内容等について十分協議のうえ、進めていきます。

また、全国のＪＡ・信連・農林中金に約１，０００名の「担い手金融リーダー」を設置し、対応を強化します。

＜県内での協議内容＞

- ① 県内担い手金融の現状把握
- ② 県およびＪＡグループのすすめる「担い手支援策」等との連携
- ③ 担い手金融にかかるＪＡ・信連・農林中金の役割分担
- ④ 担い手向け資金メニューの整備・活用
- ⑤ 農業再生支援スキーム（農業再生委員会）の活用（行政・中央会等関係団体と連携し、離農者の経営資源の担い手への円滑な継承等をはかる）

以上

＜照会先＞

農林中央金庫 広報部 担当 飯田,松尾

TEL 03-5222-2019

JAバンクの 農業の担い手金融強化 に向けた取組み

- 1 経営コンサルティング機能の拡充
- 2 アグリビジネスローンの創設
農林中金の融資ファンド **1,000億円設定**
- 3 農業法人等の発展・育成をめざす出資の活用 他



農業の、未来を耕す。

あなたの情熱に応える次代の農業へ。
農業を担う人々の未来を耕すために、JAバンクは農業の理想を描き、
最善を尽くします。

農林中央金庫 広報部

〒100-8420 東京都千代田区有楽町1-13-2 DNタワー21 tel.03-5222-2019 www.nochubank.or.jp



JAバンクは「担い手のメインバンク」として、農業の担い手を育て、夢を実現します。

JAバンクは、JA・信連・農林中金が一体となって、「担い手のメインバンク」としての地位を確立できるよう、さらに機能の充実を図ります。

総合的な金融サービスの提供

point 1 経営コンサルティング機能

農業の担い手の経営に対して、コンサルティング機能の充実を図ります。当面は農林中金内にコンサルタントチームを組成、専門家を活用し、農業法人等へコンサルティングを行うとともに、JA・信連に機能提供を行います。

- 経営診断および会計指導等
- 販売先紹介・異業種交流等のビジネスマッチング
- 将来的な株式上場支援等

point 2 アグリビジネスローンの創設

法人向け新資金として、借入者の信用力に応じ「過度に担保・保証に依存しない、機動的な運転資金等」を低利率で提供します。これにより、プライムレート基準の無担保・無保証の農業資金融資も可能になります。

※ 農林中金が本資金の取り扱いを先行して実施し、JA・信連においては2005年4月以降に検討。

point 3 農業法人等の発展・育成をめざす出資の活用

融資に加え、アグリビジネス投資育成(株)による農業法人等への出資も積極的に活用することで、財務基盤の強化を図り法人の発展・担い手人材の育成に貢献します。また協同リース(株)等によるリースの活用を進めます。

アグリビジネス投資育成(株)

農業法人投資育成事業を営むため、「農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法」に定める事業計画の承認を受け、JAグループと農林漁業金融公庫の出資により設立された株式会社。

農林中金における推進体制の整備

農林中金農林部内に「JAバンク担い手金融室」を設置し、JA全中(全国農業協同組合中央会)等の担い手支援セクションと連携し、担い手金融強化に取り組みます。

- JAバンクにおける担い手金融強化のための企画・立案
- JA・信連・農林中金に設置する担い手金融リーダーのサポート
- 農業法人等の担い手に対するコンサルティング機能の提供
- 全国の農業法人等への直接融資など

各県のJA・信連における取組み

各県における具体的な取組み等につきましては、本年4月以降、JA・信連・農林中金が十分協議のうえ、推進します。各県のJA・信連・農林中金に「担い手金融リーダー」を設置し、取組みを進めます。

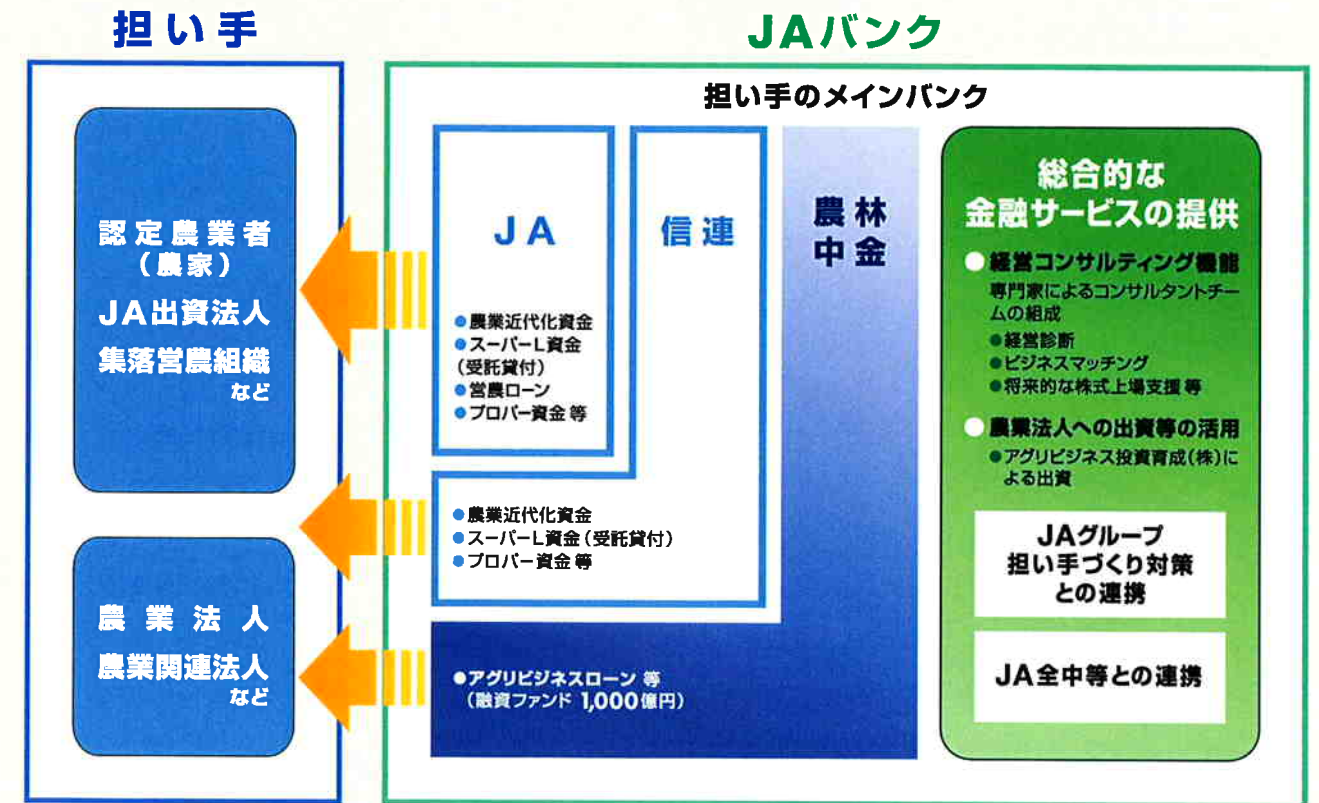
県内での協議内容

- 県内担い手金融の現状把握
- 県およびJAグループが進める「担い手支援策」との連携
- 担い手金融にかかるJA・信連・農林中金の役割分担
- 担い手向け資金メニューの整備・活用
- 農業再生支援スキーム(農業再生委員会)の活用(行政・中央会等関係団体と連携し、離農者の経営資源の担い手への円滑な継承を図る)

JAバンク担い手金融リーダー

全国のJA・信連・農林中金に約1,000名の担い手金融実務のリーダーを設置し、緊密な情報交換、連携をはかります。

JAバンク担い手金融強化に向けた取組み



JA

- 認定農業者(農家)・JA出資法人・集落営農組織等の担い手に対する融資対応を行う。

信連

- JAの取組みを推進・支援するとともに、JAの対応が困難な農業法人等に対して、直接融資またはJA・信連との協調融資等によって積極的な金融対応を図る。

農林中金

農林中金が提供するアグリビジネスローン概要

融資ファンド1,000億円

- 融資対象者: 原則3期分の決算書提出が可能、かつ繰越欠損金が無い農業法人等(新設法人は、事業計画により判断。)
- 資金使途・期間: 原則10年以内の運転資金・設備資金等の事業資金
- 融資利率: 原則短期プライムレート、長期プライムレートで対応。
- 担保・保証: 担保:必要に応じて徴収(短期資金の場合は無担保取引も可能) 保証:第三者個人保証は不要。

※ 農林中金が本資金の取り扱いを先行して実施し、JA・信連においては2005年4月以降に検討。